



## 山口市立白石小学校の大いちょうの後継樹が里帰り ー林木遺伝子銀行110番による樹木の増殖サービスー

### ポイント

- ・山口県山口市立白石小学校のシンボルツリー大いちょうの後継樹の苗木が、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター関西育種場から里帰りします。  
里帰りした後継樹苗木を山口市立白石小学校の5年生と植樹を行います。

### 概要

岡山県勝田郡勝央町にある国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター関西育種場では、我が国の貴重な林木遺伝資源の保全を図るとともに、品種改良等に活用することを目的とした林木ジーンバンク事業を実施しています。この事業の一環として、各地の天然記念物や巨樹・名木等の収集・保存と併せて、所有者等の要請により後継樹を増殖するサービス「林木遺伝子銀行110番」を行っています。このサービスを利用した山口市立白石小学校からの増殖の要請を受けて、接ぎ木により増殖し育てた大いちょうの後継樹の苗木が白石小学校へ里帰りします。

#### ○里帰り日時及び植樹の場所

日 時：平成30年3月23日（金曜日） 午前11時25分～午後0時10分（雨天決行）

場 所：山口県山口市白石1丁目10-1 白石小学校校庭

#### ○里帰りする苗木本数 3本

### お問い合わせ先

#### ○国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター関西育種場

事業責任者：遺伝資源管理課 課 長 竹原正人（たけはらまさと）

担当者： 収集管理係長 河合貴之（かわいたかゆき）

普及調整専門職 笹島芳信（ささじまよしのぶ）

広報担当者：連絡調整課 連絡調整係長 林 勝洋（はやしかつひろ）

Tel：0868-38-5138 Fax：0868-38-5139

#### ○山口市立白石小学校

担当者：白石小学校 教 頭 中尾琢磨（なかおたくま）

Tel：083-922-0063

本資料は、山口県政記者クラブに配付しています。

## 背景

全国には、学校や神社など身近な場所で地元の人々に親しまれ、ふるさとのシンボルとなっている巨樹・名木等が数多く存在します。こうした巨樹・名木等は、長い年月にわたって、風雪に耐え生育し続けているので、自然環境に対する適応性や抵抗性に優れている可能性が高く、林木遺伝資源として貴重なものです。このため、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター関西育種場では、天然記念物や巨樹・名木等の収集・保存を進めるとともに、樹木が衰弱している等で所有者等からの要請により後継樹の苗木を増殖するサービス「林木遺伝子銀行 110 番」を平成 15 年から実施しています。関西育種場ではこれまでに 80 本以上の巨樹・名木等の後継樹の里帰りを実施してきました。後継樹の苗木は、さし木や接ぎ木で増殖したクローン苗木であり、親木と同じ遺伝子を持っていますので、二代目として成長することが期待されます。

## 内容

今回里帰りする後継樹の親木は、山口市立白石小学校のいちょうの木で、樹齢 100 年以上の大きな木であり、地域のシンボルツリーとして愛されてきました。また、白石小学校のキャラクターには「おおいちょう君」というものもつくられていて、いちょうの木は児童や保護者だけでなく、地域の方にとっても身近な存在となっています。ところが、これまで校舎改築等で 2 回の移植を余儀なくされ、樹勢が衰えてしまいました。平成 27 年 8 月には、太い枝も折れ、地域の樹木医によれば幹も傷んで空洞ができており、倒木による危険が出てきたため、9 月に入ってこのいちょうの枝をすべて切り払い、幹も倒木の危険を回避できる程度に短く切ったところです。さらに、平成 28 年 3 月には切り株の回りから芽が出てくることを願ってさらに幹を切りました。また、切り株の周囲に柵をつくり、児童たちが遊ぶことで根を傷めないよう注意してきました。すると、平成 28 年 6 月に小さな芽が出てきました。順調に大きく成長するのか不安でしたが、皆の願いが届いたのか大きく成長しだし、平成 30 年 2 月現在では、高さが 2m を超えるほどになりました。まだ「大いちょう」と呼ばれていたころに比べると小さな木ですが、少しずつ葉を茂らせるようになってきています。

今回里帰りする後継樹は、山口市立白石小学校からの要請を受けて、平成 28 年 3 月にさらに幹を切った際に親木から枝（穂木）を採取し、平成 28 年 4 月に当育種場で接ぎ木増殖を試みたものです。親木には切り株から出た小さな芽が大きく育っていますが、当育種場で増殖した苗木も 2 代目としてこのほど増殖に成功し、野外に植栽しても生育できる見込みがついたことから、3 本を平成 30 年 3 月 23 日に里帰りさせることとなりました。

このたび、親木から出た芽に加え二代目の後継樹が植樹されることで、「大いちょう」が白石小学校の子供たちを再び見守ってくれるようになると保護者や地域の方も喜んでいきます。

## 図、表、写真等

○成木時の様子



○すべての枝を切り払い短くなった幹の様子  
(平成27年9月以降)



○現在の様子  
(平成29年7月頃)



※平成28年3月頃にさらに幹を切り、切り株から芽吹いた様子

○里帰りする後継樹苗木

